



11月20日(金)

東浦町スポーツ少年団が表敬訪問

東浦町スポーツ少年団が日本スポーツ少年団顕彰受賞を町長に報告しました。「永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある市区町村スポーツ少年団」に該当したことが、今回の受賞につながったそうです。本部長の坂部博幸さんは「歴代の方々や所属団体の功績であり、感謝しています。これを機に、少年少女がスポーツに親しみを持つきっかけになれば」と話しました。

◀ NOW HIGASHIURA
最近、こんなことがありました

TOWN TOPICS

まちの話題トピックス

広報紙に掲載された写真を差し上げています。

※本人が写っている場合に限りです。



町HPでは
最新トピックスを公開中！

問い合わせ 広報情報課 内線288

11月26日(木)

越尾圭さんが中央図書館を訪問！

町出身の作家、越尾圭さんが中央図書館を訪れました。越尾さんは学生の頃から、歴史・ミステリー小説を好んで読んできたそうです。おすすめは宮部みゆき著の「火車」、横山秀夫著の「動機」、横溝正史著の「獄門島」などだそうです。また、越尾さんのデビュー作「クサリヘビ殺人事件 蛇のしっぽがつかめない」、第2作「殺人事件が起きたので謎解き配信してみました」も所蔵しています。ぜひ、読んでみてください！



11月21日(土)

藤江っ子まつり

藤江小学校で藤江っ子まつりが行われ、学年ごとに日々の学習の成果を発表しました。3年生は授業の中で学んだ竹について、クイズや体験するブースを設置。「家族にも竹について知ってほしい」と、竹のよさをまとめた手書きのポスターを掲示しました。そのポスターを見た保護者の方が、児童自ら販売する竹炭や竹酢液を買い求めていました。

TOPICS



11月21日(土)

「藤江にともる だんつくのあかり」 藤江プロジェクト発動！

だんつくの伝統継承や地区の方たちの心が触れ合うイベントができないかと、藤江地区の有志が立ちあがりしました。発起人の金森大席さんは「竹灯籠なら各家庭で設置できる。子どもたちに竹灯籠にだんつくの絵をかいでもらうことで愛着を持ってもらえるのではと企画した。竹灯籠を通して皆さんの心が一つになれば」と話してくれました。当日は、藤江コミュニティセンターの花壇などに竹灯籠が設置され、午後5時になると明かりが灯されました。明かりに照らされた光景を写真に収めようとする住民の皆さんの姿も見受けられました。

11月25日(水)

多文化共生ひがしうらが表敬訪問

多文化共生ひがしうらが愛知県多文化共生推進功労者表彰を受賞したことを町長に報告しました。コロナ禍の外国人への影響や、永住を希望する外国人が増えている現状も話しました。日本で暮らす子どもたちの教育が大事になっていますがサポートするスタッフが足りていない現状があるといいます。代表の小山儀秋さんは「にほんごひろばなどの活動を通して、東浦に住む外国の方が日本で日常生活を送れるようサポートしていきたい」と笑顔で話しました。

TOPICS



編集後記

新年といえはーといつことで、今号は日の出の表紙にしました。役場の屋上から撮影しています。撮影のチャンスは2日間。1日目は、雲はありましたが太陽を撮影することができました。翌日、2日目こそーと挑んだものの、東の方角は雲に覆われており、断念。結局1日目の写真が採用されました。日の出は美しいですね。2021年は新たなよい時代の夜明けになってほしいなと願いを込めて。(H)

スーパークイズ

木澤 桜花ちゃん(0歳)

毎日可愛い笑顔を見せてくれる桜花ちゃん。これからの成長も凄く楽しみです。桜花ちゃんはみんなの癒しです。



メールで簡単応募！
町ホームページ
「広報ひがしうらスーパークイズ募集」から応募できます。

